



～ハンディある人たちと共に～

# 第13回 命輝け京都第九コンサート

2018年 **11月25日(日)** 14:00開演 (13:00開場) 13:30～ウェルカムコンサート

**京都コンサートホール 大ホール**

地下鉄北山駅出口①徒歩5分  
エレベーター出口③徒歩3分

**第1部** 和楽器ユニット おとぎ 組曲「月と大地の記憶」～シルクロードの旅人～ほか

**第2部** ベートーヴェン 交響曲第9番 二短調「合唱付き」op.125

指揮 ● 山下一史

管弦楽 ● 京都市交響楽団

ソリスト ● ソプラノ・日紫喜恵美 アルト・西原綾子 テノール・清水徹太郎 バリトン・大谷圭介.

合唱団 ● 命輝け第九コンサート合唱団

協賛演奏 ● 京都聖母学院中学校・高等学校コーラス部・吹奏楽部・ハンドベル部

合唱指揮 ● 橋本利嗣

手話表現 ● ふれあいサークル「手話隊」

□チケット(全席自由)：一般 3,000円 (当日3,500円) 高校生以下 2,000円 (前売・当日共)

ハンディのある方及び介助者 2,000円 (当日2,500円)

\*車椅子用指定席 2,000円 (前売のみ)

(合唱団員が1枚ずつ色塗りした手作りチケットです)

□問い合わせ： 京都コンサートホール ☎075-711-3231



命輝け第九コンサートの会 ☎090-8824-8187 (久馬) Fax 075-491-9516

email : j j19530524@outlook.jp ホームページ : freude9.cocolog-nifty.com



後援 ● 京都府、京都市、京都府社会福祉協議会、京都市社会福祉協議会、京都ボランティア協会

京都手をつなぐ育成会、京都府身体障害者団体連合会、京都市身体障害者団体連合会

京都障害児者親の会協議会、京都北ライオンズクラブ、  京都放送局

京都新聞社会福祉事業団、京都新聞、朝日新聞京都総局、KBS京都

助成 ● 京都オムロン地域協力基金、京都北ライオンズクラブ、京都新聞社会福祉事業団

主催 ● 特定非営利活動法人 命輝け第九コンサートの会

●点字プログラムあります

●介助の必要な方にはスタッフが待機

●未就学児の入場はご遠慮下さい

# 音がつながる 人がつながる 心がつながる

1993年に第1回のコンサートを開催して以来「第5パートのある第九」「手話のある第九」として、ハンディある人もない人も共に持てる力を出しあって重層的なハーモニーの第九コンサートが続けてきました。

「すべての人が兄弟になる」と歌う第九は、「平和」を願う「歓喜の歌」です。今こそみんなで歌いましょう！13回目の今回は、和楽器ユニットおとぎをお迎えしてお楽しみいただきます。

## 第1部 和楽器ユニットおとぎによる演奏

和楽器ユニット「おとぎ」 <http://otogi.halfmoon.jp/>

筑前琵琶・胡弓・箏・尺八などの四人の演奏家によって結成されたユニット。優美な音色で様々な情感に訴える和楽器の魅力、現代人にも親しみやすいアレンジで表現するスタイルは、若者からシニアまでファン層が幅広い。

関西に活動拠点を置きつつ、八千代座(熊本県)、内子座(愛媛県)など、全国の芝居小屋での公演にも力を入れている。

2014年、結成十周年記念コンサートを奈良にて開催し、「組曲 古事記 第一番一天地創生篇一」(作曲:木場大輔/歌詞:節付:川村旭芳)を発表。

2018年、京都公演にてシリーズ続編の「組曲 古事記 第二番一全国主命篇一」を発表。

また、朗読と琵琶語りを中心とした音楽劇も創作・上演している。

アルバムCD『音戯紀行』ほか発売中。

◆川村 旭芳(筑前琵琶・歌・語り) ◆木場 大輔(胡弓/作編曲) ◆折本 慶太(箏・十七絃ほか) ◆安田 知博(尺八・篠笛・朗読)



## 第2部 ベートーヴェン/交響曲第9番 二短調「合唱付き」op.125



指揮 山下一史 (やました かずふみ)

1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年デンマークで開かれたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。1985年12月からカラヤンが亡くなるまで彼のアシスタントを務め、以後、デンマーク放送交響楽団などを指揮、着実にヨーロッパでの実績を重ね、1993年から1998年までヘルシンボリ交響楽団(スウェーデン)の首席客演指揮者を務めた。

日本国内では1988年NHK交響楽団を指揮してデビュー、以後国内の主要オーケストラに定期的に出演し、好評を得ている。オーケストラ・アンサンブル金沢のプリンシパル・ゲスト・コンダクター(1991年~1993年)、九州交響楽団の常任指揮者(1996年~1999年)を歴任。また、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者(2002年~2008年)を務め、2005年秋には、新国立劇場より松村禎三『沈黙』公演が招待され、東京の音楽界にも衝撃を与えた。2008年4月より同団名誉指揮者就任。千葉交響楽団(旧ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉)音楽監督。東京藝術大学音楽学部指揮科教授。

ソプラノ 日紫喜恵美 (ひしき えみ)



京都市立芸術大学大学院修了。ミュンヘン国立音楽大学に留学。日本モーツァルト音楽コンクール第1位、ベルギー国際声楽コンクール第2位など受賞多数。「魔笛」「椿姫」「ルチア」「ナクス島のアリアドネ」「夢遊病の女」佐渡裕指揮「キャンディード」小澤征爾指揮「ジャンニ・スキッキ」イタリアでのガラコンサートに招かれるなど活躍。関西二期会会員。京都市立芸術大学准教授、愛知県立芸術大学講師。

アルト 西原綾子 (にしはら あやこ)



大阪音楽大学声楽学科卒業。同大学専攻科修了。オペラ「カルメン」「蝶々夫人」「仮面舞踏会」「アイダ」「ドン・カルロ」等、数多くの作品に出演。アンティ役で出演した「ピーター・グライムズ」は三菱UFJ信託音楽賞を受賞。アルトからソプラノまで幅広い役柄を歌い好評を得ている。また、「第九」「レクイエム」「メサイア」「戴冠ミサ」等のソリストも多数務める。ドイツ・ヴァイカースハイム国際音楽祭にてディプロマを取得。永井和子氏に師事。関西歌劇団理事。大阪音楽大学付属音楽院講師。関西歌劇団オペラ教室講師。

テノール 清水徹太郎 (しみず てつたろう)



京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。飯塚新人音楽コンクール優勝の他、多数のコンクールで優勝・上位入賞。文部科学大臣賞、平成29年度坂井時忠音楽賞他多数受賞。ソロリサイタル多数開催。「カルメン」「夕鶴」「椿姫」「魔笛」「オテロ」他多数主演・出演。ドイツ・ザクセン声楽アンサンブル「メサイア」のソリストとして招聘された他、「第九」「四季」「天地創造」等室内楽のソリスト出演も多い。ミュージックマスターズ所属。『びわ湖ホール4大テノール』メンバー。

バリトン 大谷圭介。(おおたに けいすけ)



京都教育大学数学科卒業。京都市立芸術大学大学院博士(後期)課程修了。博士号取得。「フィガロの結婚」伯爵でデビュー。近年「ドン・カルロ」「アンドレア・シェニエ」「ジャンニ・スキッキ」など立て続けに主演。いずれの公演においても端正な歌唱と役作りで好評を得ている。2017年12月~2018年2月、『イリス』キョウト役でリヴォルノ・ピサ・ルッカの各劇場から招聘を受け出演、高い評価を受けた。関西二期会会員。京都市少年合唱団指導者。